



ストック(あわじ花さじき)

# わたしたちのまちの 景況レポート No. 28

2021年10～12月期実績・2022年1～3月期見通し

今日も 楽しい おつきあい



淡路信用金庫

## 調査概要

- 調査時期 : 2021年10～12月期実績・2022年1～3月期見通し
- 調査方法 : 当金庫の営業店職員による「聴取り」調査
- 調査企業数 : 673社  

製造業	152社	卸売業	100社	小売業	116社
サービス業	115社	建設業	141社	不動産業	49社
- 調査地区 : 当金庫事業地区（洲本市、淡路市、南あわじ市、明石市、神戸市、芦屋市、西宮市、尼崎市、加古郡稲美町、加古郡播磨町、加古川市、高砂市、三木市）
- 分析方法 : D. I.（「良い」「増加」「上昇」の回答割合 - 「悪い」「減少」「下降」の回答割合）  
 ※不変部分を除き、「良い」「悪い」のどちらの力がどれだけ強いかを調べる方法

指標	内容	プラス	マイナス
業況	調査時点での回答企業の業況「良い」-「悪い」	良い > 悪い	良い < 悪い
売上額	前期(四半期)と比較した売上「増加」-「減少」	増加 > 減少	増加 < 減少
収益	前期(四半期)と比較した収益「増加」-「減少」	増加 > 減少	増加 < 減少
販売価格	前期(四半期)と比較した販売価格「上昇」-「下降」	上昇 > 下降	上昇 < 下降
仕入価格	前期(四半期)と比較した仕入価格「上昇」-「下降」	上昇 > 下降	上昇 < 下降
人手過不足	調査回答時点での人手「過剰」-「不足」	過剰 > 不足	過剰 < 不足
資金繰り	前期(四半期)と比較した資金繰り「楽」-「苦」	楽 > 苦	楽 < 苦

設備投資企業割合 設備投資実施の有無

## 例

人手不足▲50とは

人手	(1)過剰 (2)やや過剰 (3)適正 (4)やや不足 (5)不足
----	-----------------------------------

↓ 回答数を集計し、回答割合を算出

	(1)過剰	(2)やや過剰	(3)適正	(4)やや不足	(5)不足	合計
回答数	35	35	210	280	140	700
回答割合	5.0%	5.0%	30.0%	40.0%	20.0%	100.0%

$$\text{人手不足} = \underbrace{10}_{(1)+(2)} - \underbrace{60}_{(4)+(5)} = \text{▲}50$$

### 【問合せ先】

淡路信用金庫 業務部

担当：みのだ 籾田、もみのき 縦木、みくら 三倉

TEL : 0120-22-1020

# 業種別地区別天気図

業種	全事業地区 (673先)			淡路地区 (389先)			神明地区 (284先)		
	2021年 7~9月 (前期)	2021年 10~12月 (今期)	2022年 1~3月 (見通し)	2021年 7~9月 (前期)	2021年 10~12月 (今期)	2022年 1~3月 (見通し)	2021年 7~9月 (前期)	2021年 10~12月 (今期)	2022年 1~3月 (見通し)
総合									
製造業									
卸売業									
小売業									
サービス業									
建設業									
不動産業									

好調 ← → 低調

## 全業種

前期 今期 来期

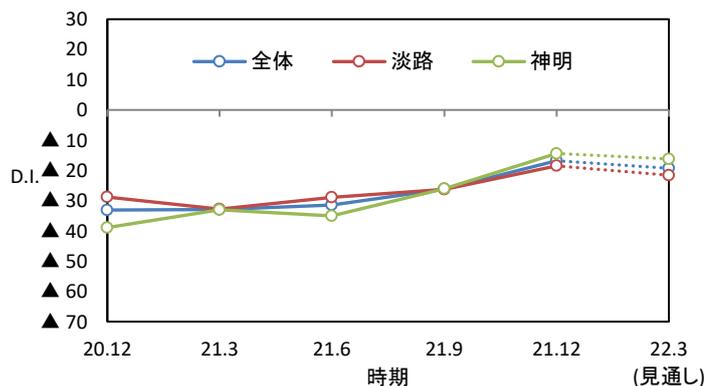
今期（2021年10～12月期）の業況は▲16.8となり、前期（2021年7～9月期）▲26.2に比べ9.4ポイント改善されたが、依然として新型コロナウイルス感染症の影響が窺える。

項目別では、売上額は6.8（前期▲13.9）と20.7ポイント大幅改善、収益もマイナス幅が前期比14.8ポイント縮小し▲1.9となった。販売価格では16.6（前期4.1）と12.5ポイント改善されるも、仕入価格が52.9（前期31.3）

と21.6ポイント上昇している。

人手不足感については▲24.8（前期▲21.6）と3.2ポイント悪化、資金繰りについては▲3.4（前期▲4.1）と0.7ポイントの改善となった。来期（2022年1～3月期）の業況については▲19.3と2.5ポイントの悪化を見込んでいる。他の項目でも、売上額・収益・販売価格など悪化する見込みであり、コロナ禍収束の不透明感から先行きは厳しい見通しである。

業況判断D.I.の推移（地区別）



(D.I.)

	21年9月 (前期)	21年12月 (今期)	22年3月 (見通し)
業況	-26.2	-16.8	-19.3
売上額(前期比)	-13.9	6.8	-7.3
収益(前期比)	-16.7	-1.9	-10.5
販売価格(前期比)	4.1	16.6	7.6
仕入価格(前期比)	31.3	52.9	37.9
人手過不足(過剰-不足)	-21.6	-24.8	-22.6
資金繰り(楽-苦)	-4.1	-3.4	-3.6
設備投資実施企業割合(%)	19.6	18.5	16.1

## 製造業

前期



今期



来期



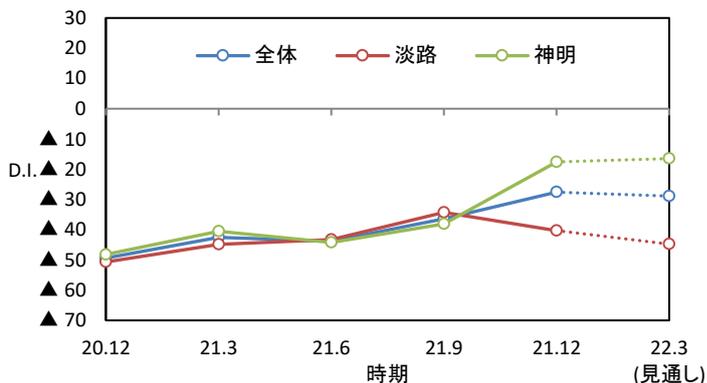
今期の業況は▲27.6（前期▲36.4）となり 8.8 ㊦の改善となった。地区別の業況は、淡路地区▲40.3(前期▲34.3)と 6.0 ㊦の悪化、神明地区▲17.6(前期▲38.1)と 20.5 ㊦の改善となった。来期については業況が▲28.9 と見通しは暗く、売上額は▲15.8 と悪化の予想となっている。

### お客様の声

昨年コロナ禍の巣籠もり需要で売上は増加するも、今期はコロナ慣れと反動により減少傾向にある。製造部門において人手不足が懸念材料となっているが、賃金水準の改善を積極的に行い、新卒や臨時職員の採用にも力を入れている。（淡路）

コロナ禍により一時的に業況は悪化したが、在宅ワークが進むにつれ需要が拡大し、売上高は回復している。緊急事態宣言解除により、コロナ禍以前の業況に戻りつつある。また、事務効率化が進んだため、リモートワークにより出勤数制限は継続している。（神明）

業況判断 D. I. の推移（地区別）



	21年9月 (前期)	21年12月 (今期)	22年3月 (見通し)
業況	-36.4	-27.6	-28.9
売上額(前期比)	-30.5	2.0	-15.8
収益(前期比)	-27.8	-6.6	-19.1
販売価格(前期比)	-2.6	12.5	3.3
仕入価格(前期比)	35.1	59.2	40.1
人手過不足(過剰-不足)	-19.9	-23.0	-18.4
資金繰り(楽-苦)	-7.9	-9.2	-9.9
設備投資実施企業割合(%)	19.9	23.0	20.4

## 卸売業

前期



今期



来期



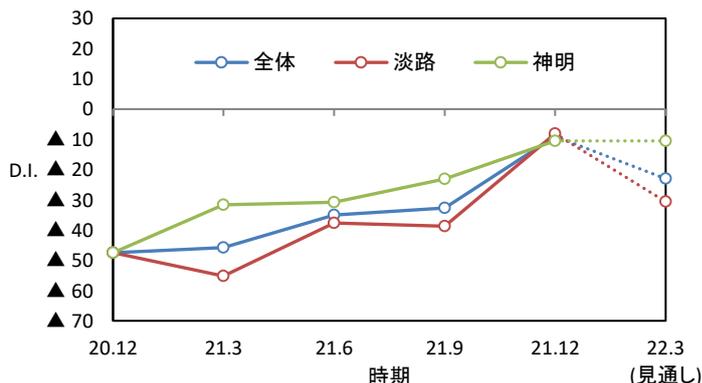
今期の業況は▲9.0（前期▲32.7）となり 23.7 ㊦改善となった。地区別の業況は、淡路地区▲8.1(前期▲38.7)と 30.6 ㊦の大幅改善、神明地区も▲10.5(前期▲23.1)と 12.6 ㊦の改善となった。来期は▲23.0 と悪化の見通しとなり、依然として低水準にとどまる。また、売上額▲12.0・収益▲13.0 と共に悪化する見込みとなっている。

### お客様の声

新型コロナウイルスの影響により外国人労働者の確保が難しい状態ではあるが、現状の人員で対応していく方針である。また、環境問題への取組みにも注力しており設備面の投資を計画している。（淡路）

コロナ禍における取引先の減収に改善は見られず、中国国内の電力不足、為替相場の変動による影響も大きい。コロナ前のインバウンド需要回復まで、厳しい環境が続くと見込んでいる。（神明）

業況判断 D. I. の推移（地区別）



	21年9月 (前期)	21年12月 (今期)	22年3月 (見通し)
業況	-32.7	-9.0	-23.0
売上額(前期比)	-18.8	18.0	-12.0
収益(前期比)	-19.8	8.0	-13.0
販売価格(前期比)	11.9	36.0	14.0
仕入価格(前期比)	26.7	50.0	29.0
人手過不足(過剰-不足)	-11.9	-11.0	-8.0
資金繰り(楽-苦)	-3.0	0.0	-1.0
設備投資実施企業割合(%)	17.8	13.0	12.0

## 小売業

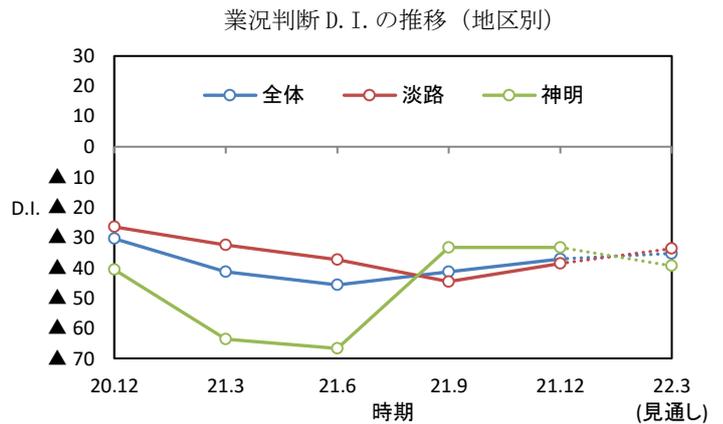


今期の業況は▲37.1(前期▲41.4)となり 4.3 ㊦改善となった。地区別では、淡路地区▲38.6(前期▲44.6)と 6.0 ㊦の改善、神明地区▲33.3(前期▲33.3)で横這いとなったが依然として厳しい状況である。来期の業況は▲35.3 と依然厳しく、売上額・収益・販売価格などはさらに悪化の見通しである。

### お客様の声

コロナの影響により主力商品の売上は伸び悩んでいるが、オンライン商談会への定期的な参加により販路拡大に努めている。また、商品のバリエーションを増やすことで顧客単価の上昇にも努めている。(淡路)

材料仕入価格の高止まり、県下最低賃金の増額改定等による利益の圧迫を懸念している。定番商品の値上げ、生産性の効率化により、改善を図っていく方針。(神明)



	21年9月 (前期)	21年12月 (今期)	22年3月 (見通し)
業況	-41.4	-37.1	-35.3
売上額(前期比)	-20.7	6.9	-14.7
収益(前期比)	-30.2	-7.8	-19.0
販売価格(前期比)	3.4	18.1	11.2
仕入価格(前期比)	28.4	38.8	29.3
人手過不足(過剰-不足)	-18.1	-19.8	-19.0
資金繰り(楽-苦)	-9.5	-8.6	-8.6
設備投資実施企業割合(%)	14.9	17.9	10.7

## サービス業

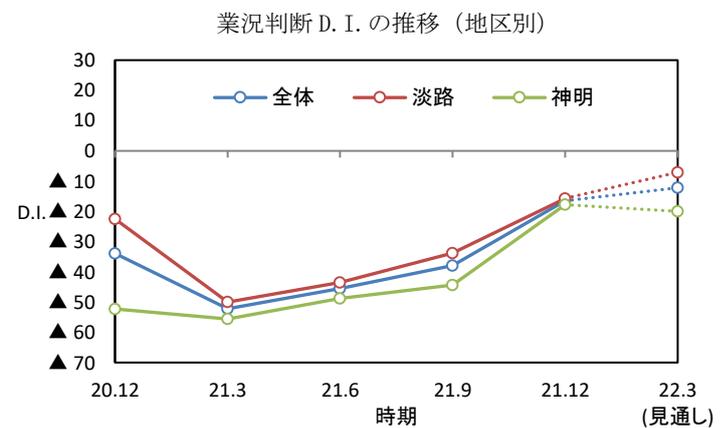


今期の業況は▲16.5(前期▲37.9)となり 21.4 ㊦大幅改善となった。地区別の業況は、淡路地区▲15.7(前期▲33.8)、神明地区は▲17.8(前期▲44.4)と共に改善となった。緊急事態宣言が解除になった影響もあり、来期も▲12.2 と悪いと予想した先は減少傾向にはあるが、新種のコロナウイルスが拡大する懸念もあるので、依然として厳しい状況にある。

### お客様の声

広告、SNS 等で情報発信を行い、緊急事態宣言等の解除後から売上高は増加傾向にあるものの、人件費等の販管費負担が大きく、収益改善には至っていない。新分野への事業展開により改善を図っていく。(淡路)

主力先の受注が回復するもコロナの影響により固定客が減っており、コロナ前の売上高には届いていない。地元で長年続く店舗であり、固定客の高齢化も懸念している。店舗周辺には住宅地があるも同業他社も点在しており、差別化を図る必要がある。(神明)



	21年9月 (前期)	21年12月 (今期)	22年3月 (見通し)
業況	-37.9	-16.5	-12.2
売上額(前期比)	-15.5	8.7	5.2
収益(前期比)	-17.2	1.7	1.7
販売価格(前期比)	0.0	13.0	7.0
仕入価格(前期比)	15.5	45.2	33.0
人手過不足(過剰-不足)	-17.2	-33.0	-30.4
資金繰り(楽-苦)	-8.6	-7.8	-3.5
設備投資実施企業割合(%)	21.6	20.9	20.0

## 建設業

前期

今期

来期



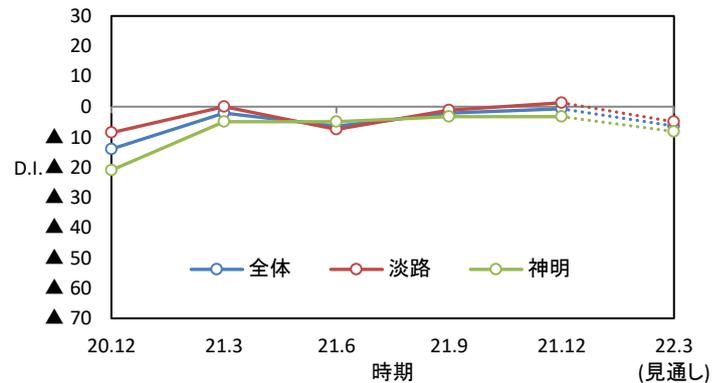
今期の業況は▲0.7(前期▲2.1)と1.4ポイント改善となった。地区別の業況は、淡路地区は1.3(前期▲1.2)と2.5ポイント改善、神明地区は▲3.3(前期▲3.3)と横這いとなった。来期は▲6.4と5.7ポイントの悪化となる見通しである。仕入価格については72.3(前期47.9)と24.4ポイント上昇しており、人手過不足については▲38.3と依然として人手が足りない状況が続く。

### お客様の声

公共工事は少ないものの、淡路島の注目度の高まりを背景に民間での大型投資案件が次々と立ち上がり、向こう1年分の受注量を確保できている。原材料価格が高騰するも請負価格へスムーズに転嫁できており利益率の低下も最小限に止められている。(淡路)

コロナ禍の落ち着きに伴って、大型受注もコンスタントに獲得しており、業況は安定推進している。しかし、材料価格の上昇及び慢性的な人員不足が続いていることから、代替品の確保や仕入先の見直し、また、労働環境を整備し、人員確保を図る必要がある。(神明)

業況判断D.I.の推移(地区別)



(D.I.)

	21年9月 (前期)	21年12月 (今期)	22年3月 (見通し)
業況	-2.1	-0.7	-6.4
売上額(前期比)	4.2	1.4	-5.7
収益(前期比)	-1.4	-5.7	-9.9
販売価格(前期比)	4.2	8.5	3.5
仕入価格(前期比)	47.9	72.3	55.3
人手過不足(過剰-不足)	-42.3	-38.3	-38.3
資金繰り(楽-苦)	5.6	5.7	3.5
設備投資実施企業割合(%)	22.5	16.3	15.6

## 不動産業

前期

今期

来期



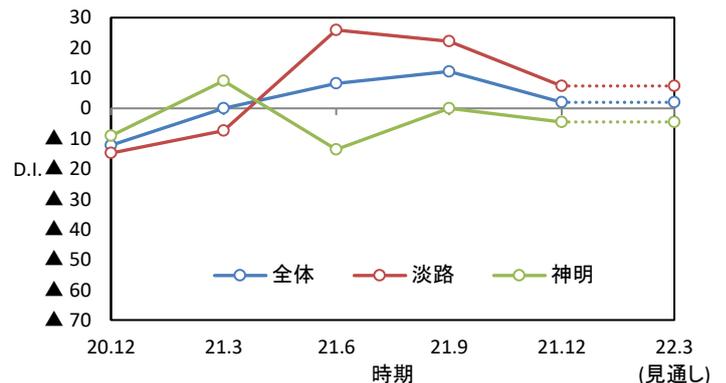
今期の業況は2.0(前期12.2)と10.2ポイント悪化となった。地区別の業況は、淡路地区は7.4(前期22.2)と14.8ポイント悪化したがプラス水準を維持している。神明地区は▲4.5(前期0.0)と▲4.5ポイント悪化した。来期の業況は淡路地区、神明地区共に横這いの見通しである。

### お客様の声

島外の事業所の移転やリモートワークの増加等により島外からの移住者も増えてきており、需要は高まってきている。しかし一部地域に需要が集中している為、業者間の競争激化を懸念。またコロナ禍の長期化も懸念材料の一つ。(淡路)

建売用土地の確保が地価上昇等により、難しくなっている。又、半導体不足、原油高、ウッドショックにより建築資材の高騰、高値推移が続いている為、収益面が厳しくなっている。(神明)

業況判断D.I.の推移(地区別)

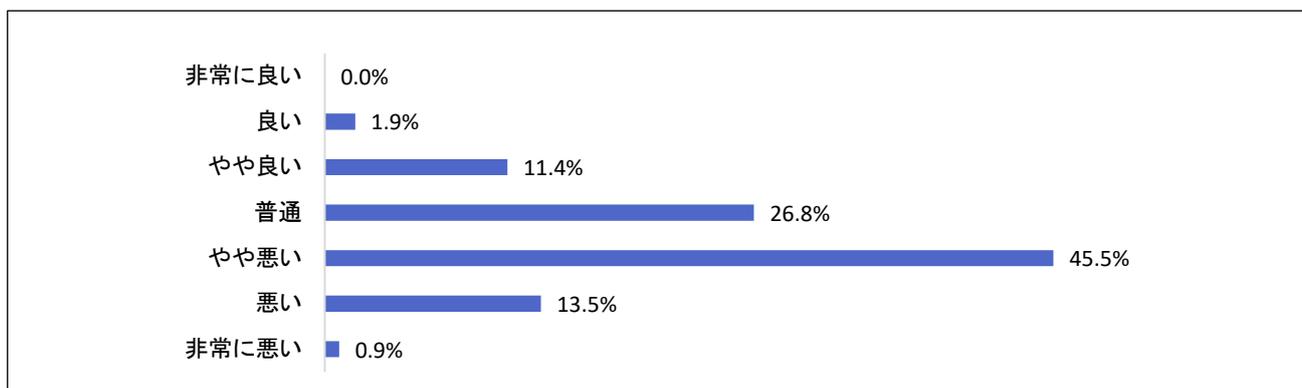


(D.I.)

	21年9月 (前期)	21年12月 (今期)	22年3月 (見通し)
業況	12.2	2.0	2.0
売上額(前期比)	14.3	10.2	12.2
収益(前期比)	12.2	8.2	10.2
販売価格(前期比)	20.4	18.4	12.2
仕入価格(前期比)	24.5	34.7	30.6
人手過不足(過剰-不足)	-6.1	-12.2	-10.2
資金繰り(楽-苦)	0.0	4.1	2.0

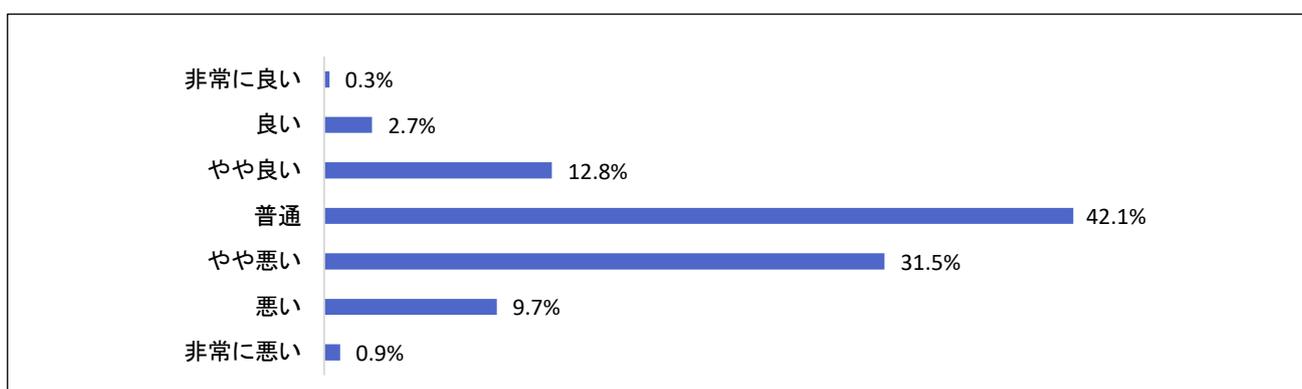
問1 2022年の日本の景気見通し

2022年の日本の景気見通しについての問いに対し、「悪い」（「やや悪い」・「非常に悪い」の項目含む）との回答が59.9%を占め、「良い」（「やや良い」・「非常に良い」の項目含む）の回答13.3%を大きく上回りコロナ禍収束時期の不確かさが影を落とす。地区別では、淡路地区は、「やや悪い」が最も多く45.2%、次いで「普通」が25.2%。神明地区も、「やや悪い」が最も多く45.8%、次いで「普通」が28.7%と地区毎の差はそれほどない。業種別は全業種で「やや悪い」の割合が一番多くなっている。



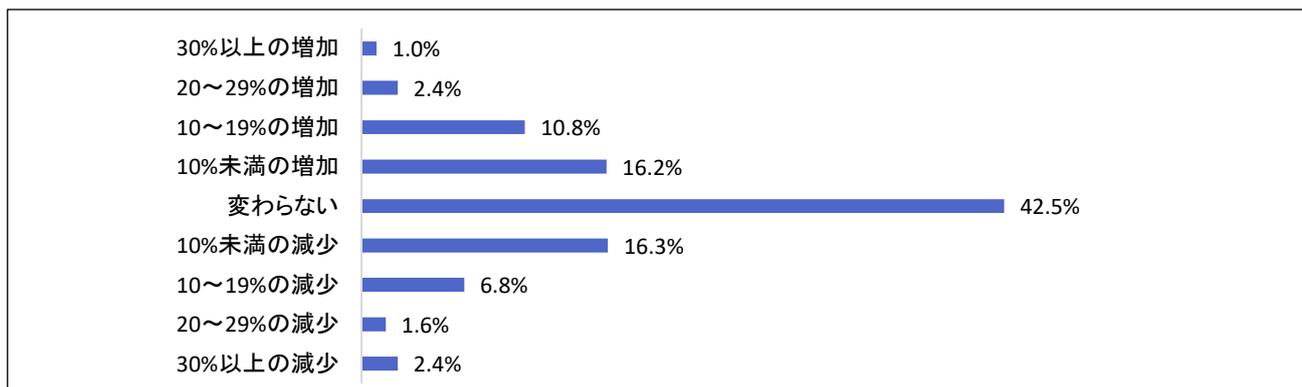
問2 2022年の自社の業況見通し

2022年の自社の業況についての問いに対し、「普通」の回答が42.1%と一番多く、「悪い」（「やや悪い」・「非常に悪い」の項目含む）との回答が42.1%占めている。一方、「良い」（「やや良い」・「非常に良い」の項目含む）の回答は15.8%に留まる。淡路・神明地区別でも「普通」の回答が一番多いが、業種別では小売業のみ「やや悪い」が最も多くなっている。



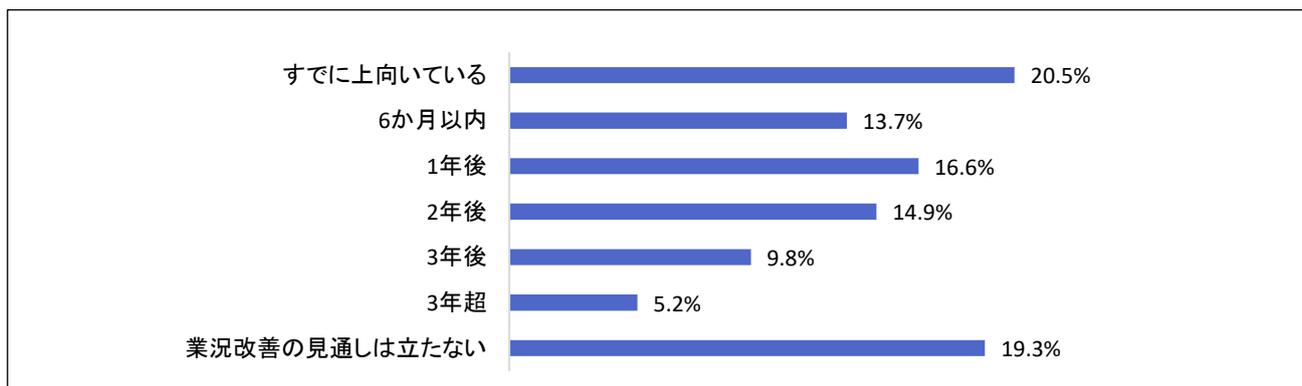
問3 2022年の自社の売上高伸び率見通し

2021年対比で2022年の売上額の伸び率についての問いに対し、「変わらない」の項目が42.5%と最も多いが、前年比「増加」項目の合計割合が30.4%を占める。一方で前年比「減少」の項目合計の割合が27.1%となっている。淡路・神明地区別でも差はなく「変わらない」の項目が一番多く、業種別でも全業種が「変わらない」が最も多くなっている。卸売業・サービス業・不動産業については「増加」項目の合計割合が「減少」項目の合計割合を上回っている。



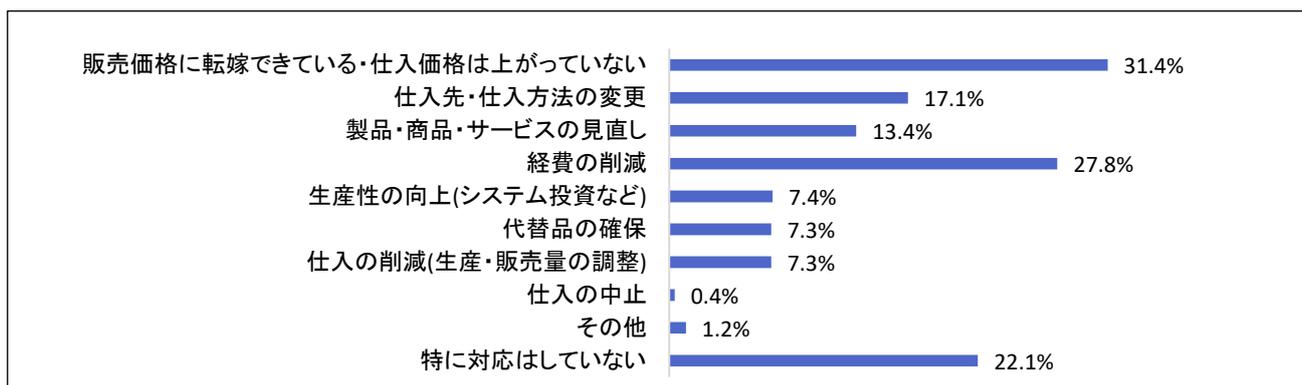
問4 自社の業況が上向く転換点

自社の業況が上向く転換時期についての問いに対し、最も多かった項目は「すでに上向いている」で20.5%の割合となり、これに「6ヶ月以内」・「1年後」の項目を合計すると50.8%となり、約半数の企業が1年前後を予想している。次に多かったのが「業況改善の見通しが立たない」の回答で19.3%の割合となっている。地区別では、淡路地区では「業況改善の見通しが立たない」の項目が一番多く23.0%、次いで「すでに上向いている」の項目が18.5%となる。一方神明地区は、「すでに上向いている」の項目が一番多く23.2%、次いで「1年後」19.4%である。業種別では、卸売業・建設業・不動産業が「すでに上向いている」が最も多く業種間での温度差が窺える。



問5 原材料・仕入価格の上昇の対応

原材料・仕入価格の上昇が問題となっているがどのような対応をしているかについては、「販売価格に転嫁できている・仕入価格は上がっていない」が31.4%と一番多く、次いで「経費の削減」が27.8%となった。一方「特に対応はしていない」は22.1%となった。業種別ではサービス業・建設業は「経費の削減」の割合が最も多くなっている。



# わたしたちのマチの元気企業 ②1



MORICHO Co.,Ltd.

株式会社森長組

弊社は大正9年の創業以来、陸上・海洋土木並びに建築工事を三本柱に着実に発展し、昨年100周年を迎えました。

弊社は今後さらに、「伝統と信頼を土台に、未来を創造する」をテーマに、皆様にご満足いただける仕事を完成させるために、一層の努力を続ける覚悟でございます。

## 海洋土木

日本で唯一の全回転式1800トン吊りのハイテク・ワークショップの所有を始め、充実した諸設備と、長年の工事实績によって培われた高度な技術と作業ノウハウによって、あらゆるニーズにお応えしてきました。これからも、さらなる技術革新に取り組みながら、海洋開発のオピニオンリーダーとして《海の未来創造》にチャレンジします。



## 陸上土木

伝統と信頼を土台に正確性、迅速性、機動力を駆使して、高度な技術と確かな施工ノウハウが要求される道路・橋梁・河川・造成・ダム・上下水道・環境等様々な分野の工事において、多くの施工実績を積み重ねてきました。これからも、豊かで快適な未来創造に貢献してまいります。



## 建築工事

商業ビルやホテル、マンションや一般住宅等は、人々が活動する都市の重要な機能そのものです。経験豊かな専門スタッフを有して、設計から施工までを、一貫体制で、官公庁の主要施設や民間の各種建築物等を手掛けて成果をあげてきました。これからも人と夢をつなぐ架け橋として、さらに前進します。



### 株式会社森長組 本社

〒656-0595 兵庫県南あわじ市賀集 823 番地  
TEL:0799-54-0721 FAX:0799-53-1822

### 関西支店

〒650-0047 神戸市中央区港島南町 3 丁目 3 番地 2 号  
TEL:078-304-0888 FAX:078-304-0889

### 東京支店

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4 丁目 27 番地  
八重洲新宿御苑ビル 2F  
TEL:03-3226-8051 FAX:03-3226-8053

### 津名支店

〒656-2132 兵庫県淡路市志筑新島 1 番地 2 号  
TEL:0799-62-4610 FAX:0799-62-0064

# わたしたちのマチの元気企業 ②②



株式会社 兵庫精密工業所  
HYOGO PRECISION CO.,LTD.

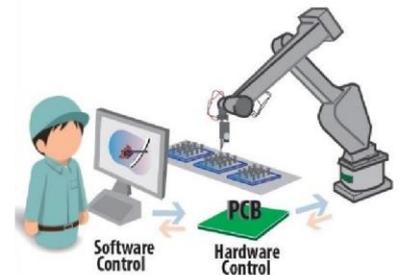
次代へ——  
真摯に「ものづくり」

想像を超える創造を！



創業60年、磨き続けてきた技術力・競争力をさらに高めるため、自社設計でのロボットによる自動加工・国内と同レベルの加工品質を実現した海外工場設立、加工時の工具長寿命化と折損の回避を実現する技術の開発など、常に新しいことに挑戦し続けています。

輸送機器・産業ロボット・油圧機器・航空機部品など様々な分野での高精度部品加工を担っており、品質・納期・コストなど、お客様からの様々なご要望に徹底してお答えすることを信条としています。設備・ソフト面においても、多様なニーズに柔軟に対応できる体制を整えています。



## 当社の強み

- ・試作から量産まで対応可能な技術と設備
- ・ネットワーク化・デジタル化・ロボット活用など、高効率・高品質・省コストなモノづくりを実践

## 主要設備

- ・マシニングセンター 「MAKINO T1」 「DMG MDU80」 「MAKINO a61nx」 「MAKINO a51」 他多数。
- ・複合加工機 「OKUMA MULTAS B300 II」
- ・立型旋盤 「OKUMA V60」 他加工機多数。
- ・三次元測定機 「ACCULA 2」 「SVA800A」 他検査機多数。
- ・常温検査室完備
- ・三次元CADシステム 「CATIA」 CAD/CAM 「Mastercam」
- ・加工ロボット 「duAro」 「BX165L」 他数台

## 職場環境

- ・「ひょうご仕事と生活のバランス」認定企業 社員のワークライフバランスを重視
- ・社員アンケートなどをもとに、働きやすい職場づくりに取り組んでいます。

### 本社・SIセンター

〒652-0896  
神戸市兵庫区須佐野通2-1-20  
TEL : 078-671-2724  
FAX : 078-671-6057



### 南坊工場

〒673-1434  
加東市東実751-108  
TEL : 0795-42-5700  
FAX : 0795-42-4141



### 篠山工場

〒669-2343  
丹波篠山市風深126-1  
TEL : 079-554-3080  
FAX : 079-554-3081



### 魚住営業所

〒674-0081  
明石市魚住町錦が丘1-11-19  
TEL : 078-948-3130  
FAX : 078-948-3133



<https://hyousei.co.jp>

